

東京金融賞2024 受賞企業

【金融イノベーション部門】

順位	企業名	実現を目指すサービスの概要
1位	Fivot (日本)	スタートアップの事業性等を判断する独自の審査モデルを活用し、企業の事業経費を立替払いするサービスを提供。成長企業にとって課題となる事業資金の調達方法を多様化する
2位	Everim pact (フランス)	レーザー照射等を活用した独自のセンサーや衛星データ等を組み合わせ、温室効果ガスの1時間毎の排出量を精緻に測定するシステムを開発し、金融機関等が自ら投融資する環境保護PJ等の効果を即時に把握できるようにする
3位	GeNiE (日本)	人材マッチング業者と連携し、フリーランスに対する融資の審査を精緻に行う審査モデルやサービスを開発し、多様な働き方を資金面からサポートする

【サステナビリティ部門】

企業名	取組の概要
MOL PLUS (日本)	海運分野等のスタートアップへの投資や商船三井グループとの協業を推進。スタートアップが持つ斬新なアイデアやテクノロジーと商船三井グループが持つリソースを掛け合わせ、環境やサステナビリティに関する課題の解決に貢献している
商工組合中央金庫 (日本)	中小企業やスタートアップに対して、企業価値向上に向けたポジティブ・インパクト・ファイナンス [*] を提供しているほか、その原資となるインパクト預金を国内で初めて組成。サステナブル経営の普及に向けた企業と投資家の裾野や結びつきの拡大に貢献している [*] 事業の環境等への影響を分析。ポジティブな影響の拡大とネガティブな影響の低減を支援する金融手法
VALT JAPAN (日本)	人手不足の企業と職を求める障がい者をつなぐプラットフォームを提供。個人の強みを把握し、適性に合う業務を紹介することで利用者の工賃・賃金が増加するなど、働きたい障がい者をサポート。企業にとっても、障がい者の力を企業成長の原動力として活かせる仕組みを構築している
バイネックス (日本) グリーンファイナンス 知事特別賞	生育が早いソルガム [*] （イネ科植物）を開発・栽培し、食用やバイオ燃料として販売。現在、同植物の栽培によりカーボンクレジットを創出し金融市場を通じて売買できる仕組みの構築を進める等、脱炭素社会の実現に貢献している [*] 生育過程で土壌に炭素を貯留し大気中のCO2排出を削減